

消耗品のご案内

(注)消耗品に関して、本装置以外でのご使用はお控えください。

培地チューブセット

500ml / 1000ml ボトル供給用チューブセット	
セット内容	供給用チューブ(ディスボーズブル) 15本 GL-45 培地供給ボトルキャップ(繰り返し使用) 3個
型式	MC-DT-500 / MC-DT-1000
オートクレーブ	チューブ (電子線滅菌済):× ボトルキャップ (未滅菌):○
推奨交換頻度	培養終了毎



▲ GL-45 供給培地用ボトルキャップ(オレンジ)
◀ 供給用チューブ(レッドラベル)

廃液用チューブセット	
セット内容	廃液用チューブ(ディスボーズブル) 15本 GL-45 廃液用ボトルキャップ(繰り返し使用) 3個
型式	MC-ST
オートクレーブ	チューブ (電子線滅菌済):× ボトルキャップ (未滅菌):○
推奨交換頻度	培養終了毎



▲ 廃液用チューブ(ブルーラベル) ▲ GL-45 廃液用ボトルキャップ(ブルー)

その他 消耗部品



培地供給・廃液 共通 金属ノズル	
販売数量	1個単位
型式	MC-NZ
材質	ステンレス
オートクレーブ	○ (未滅菌、繰り返し使用)
付属品	シリコンキャップ付

培地供給ボトルキャップ用エアークリーンフィルター	
販売数量	15個単位
型式	MC-FL

HEPAフィルター	
販売数量	1個単位
型式	MC-HF
推奨交換頻度	年に1回 ※定期点検(任意)時に交換

別途必要な品

培地ボトル / 廃液ボトル	
培地ボトル 500ml	コーニングPET製ストレージボトル: 431532
培地ボトル 1000ml	コーニングPET製ストレージボトル: 431533
廃液ボトル	汎用広口ボトル GL-45

初回付属品

- ・ 制御用ノートPC
- ・ 培地ボトル、廃液ボトル 各1個
- ・ 専用金属ノズル(シリコンキャップ付) [型式: MC-NZ] (6個)
- ・ 供給用ペリスタリックポンプ (オレンジ)3個 / 廃液用ペリスタリックポンプ (ブルー) 3個
- ・ 供給用チューブセット 1式 [型式: MC-DT-500 / MC-DT-1000] (※購入時選択)
- ・ 廃液用チューブセット 1式 [型式: MC-ST]
- ・ 培地供給ボトルキャップ用エアークリーンフィルター 1個
- ・ 保冷部専用 500mlボトル用スペーサー 3個
- ・ 廃液ボトルラック 1個
- ・ 加湿用金属トレイ 1個
- ・ 電源ケーブル (2m)
- ・ LANケーブル (2m)

MakCell

cell culture system



＜お問い合わせ先＞
株式会社ジェイテックコーポレーション
〒567-0086
大阪府茨木市彩都やまぶき2丁目5番38号
TEL:(072)655-2786(営業部)/ FAX:(072)643-2391
URL:https://www.j-tec.co.jp

インキュベータ内動作
動画公開中



特長 1. CO₂インキュベータ内で 自動培地交換

- > CO₂濃度や温度、湿度などの環境変化による細胞へのストレスを軽減
- > HEPAフィルター付庫内循環によりISOクラス5相当の清浄度環境下
- > 培地交換時の培養容器移動(振動)による細胞へのダメージ軽減
(ディンプルプレートについても適用可能)

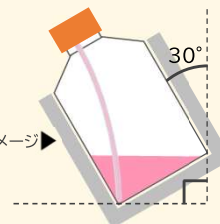
特長 2. 培地3種類 同時搭載可能

- 培地供給ボトル(オレンジキャップ)**
- ・ 保冷機能付の専用ホルダーに収納
 - ・ 角型培地保存ボトル(PET製) 最大3本収納可能
コーニングPET製ストレージボトル 500ml / 1000ml
(オプション) コーニング社250mlボトル(431531)に対応可能

【ポイント】

- ★ 培地不足防止対策としてお知らせランプ点滅機能付き
(保冷部通電時はランプ点灯)
500mlボトル > 100mlラインで点滅
1000mlボトル > 200mlラインで点滅

- ★ ボトルを30°傾けた状態で収納
> ボトルの取出しが簡単
> 培地の吸い残しが少ない



培地供給ボトル保冷部収納イメージ

- 培地廃液ボトル(ブルーキャップ)**
- ・ 広口メジュームびん(1L) 最大3本収納可能
 - ・ 装置側面設置の専用ラック付

【ポイント】

- ★ 目線の高さで廃液量が確認しやすく、交換忘れを防止

タッチパネル

- ・ (培養スケジュール登録以外の)操作はタッチパネルで実行
- ・ 庫内の温度やCO₂濃度を大きく表示

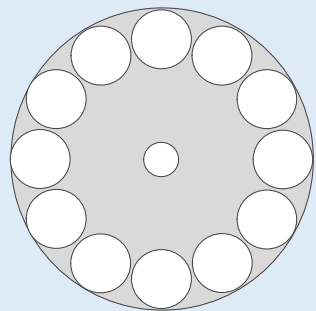
特長 3. ディッシュと マルチウェルプレート 両方使用可能

- > 培養ディッシュ : φ60 mm / φ100 mm
- > 培養プレート : 6-well / 12-well / 24-well

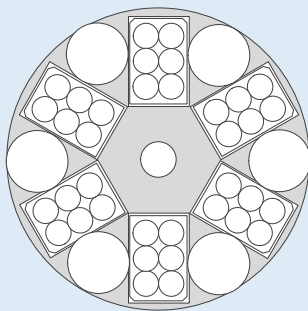
ディッシュのみの配置イメージ : 最大24枚
(1テーブル12枚×2段)

ディッシュ/プレート混載の配置イメージ : 最大24枚
(1テーブル ディッシュ/プレート各6枚×2段)

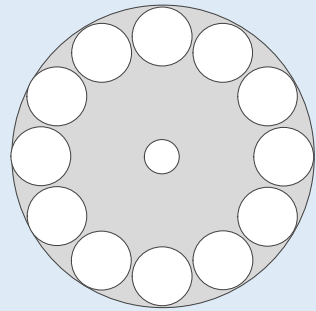
上段



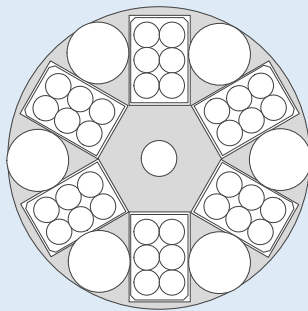
上段



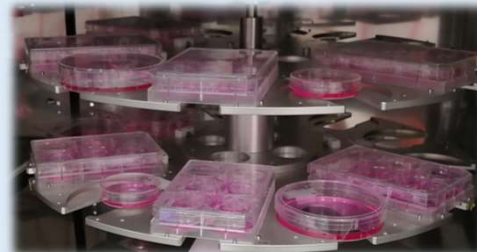
下段



下段



培地交換動画
公開中



▲ MakCell庫内収納イメージ



▲ 6-wellプレート廃液イメージ

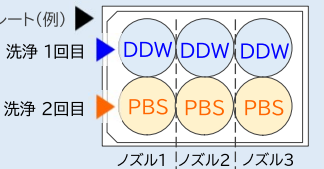
特長 4. クロスコンタミネーションに 配慮した設計

- > 接液した廃液ノズルを洗浄することで、複数種類の細胞を同時に培養可能
※培地供給ノズル 及び 廃液ノズルは、次回チューブ交換まで同じものを使用します。

< 廃液用ノズル 洗浄工程(例) >

- 洗浄 1回目 : 滅菌水(DDW)で洗浄し、ノズルに付着した細胞を浸透圧差を利用して死滅させる。
洗浄 2回目 : ノズルに付着した滅菌水(DDW)をPBSで洗浄し、平衡化させる。

廃液ノズル洗浄用プレート(例)



特長 5. PC での 簡単な操作 で 培養スケジュール管理可能

- > 最大50の培養スケジュールの登録が可能
- > 1日と週間の実行予定スケジュールをまとめて確認可能

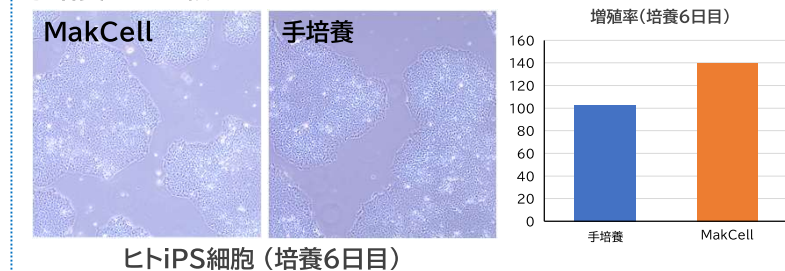
特長 6. 培地交換開始/終了/エラー時の メール通知機能 (オプション)

- > 休日や勤務時間外でも稼働状況が把握でき安心
- > 設定で通知項目を選択可能 (必要ない通知はオフにすることができます。)

特長 7. 低酸素雰囲気下 での 培地交換も可能 (オプション)

- > 培地交換中も酸素条件を保ったままの培養が可能
- > 酸素濃度条件をコントロールすることで、細胞の特性評価に貢献

手培養との比較



ヒトiPS細胞 (培養6日目)

ディッシュおよびマルチウェルプレートを使用した場合でも、通常の手培養と比較して、遜色ない細胞数を得ることができた。

[データ提供]大阪大学工学部 植村特任教授

本体外径寸法		W746×D682×H1000 (mm)
重量		100kg
定格電源電圧		AC100V 10A 50/60Hz
ディスプレイ		6.5インチ液晶タッチパネル
供給ライン	送液	ペリスタリックポンプ 3台
	培地冷却方式	ペルチェ素子
	ボトル	コーニングPET製ストレージボトル 500ml (431532) or 1L (431533)
	ノズル	オートクレーブ滅菌
廃液ライン	送液	ペリスタリックポンプ 3台
	ボトル	汎用広口ボトル(GL-45)
	ノズル	オートクレーブ滅菌
インキュベータ部	清浄方式	HEPAフィルター付庫内循環
	清浄度	ISOクラス5(クラス100) 相当
	温度制御方式	専用比例制御
	温度表示方式	デジタル表示式(分解能 0.1℃)
	加熱方式	エアージャケット方式
	CO ₂ 濃度制御方式	専用比例制御/IRセンサー
	CO ₂ 濃度表示方式	デジタル表示式(分解能 0.1%)
	加湿方式/湿度	加湿トレイ自然蒸発方式/90%RH以上
	テーブル仕様	回転テーブル 2段
	収容枚数	ディッシュのみ:最大24枚 ディッシュ/プレート混載:最大24枚
制御用ノートPC		各種動作設定、培地交換スケジュール機能設定、メール通知設定(オプション) etc